

## 第23回 みんなと一緒に“福祉とボランティア活動展”

# 盛大に開催 ふれあいの輪がひろがりました!!

平成23年10月15日(土)・16日(日)の両日、一宮スポーツ文化センターにおいて、福祉関係者、施設、団体とボランティアが参加し、本会主催による「福祉とボランティア活動展」を開催。2日間で約5,000人の入場者がありました。

この催しは、市民の皆さんに福祉とボランティア活動に対する理解と啓発並びに参加の呼びかけを目的に毎年開かれています。会場では、それぞれの活動状況や内容が写真・ポスター・パネル等で紹介され、中でもバザー・体験コーナーには大勢の人がみえました。模擬店も好評で全品が売り切れとなる盛況ぶりでした。

また今年も、東日本大震災により被害に遭った東北地方の支援活動として、①まちこん一宮さんのご協力による東北物産品の販売、②入場時の粗品として、15日には陸前高田市にある青松館せせらぎの授産製品を、16日には大船渡市にある朋友館の就労支援事業所製品をそれぞれ500個配布、③大船渡市社協の賛助会員募集の広報啓発を行い、復興支援を図りました。

活動展のしめくくりには恒例となっています「ふれあい餅つき大会」がステージ前でおこなわれ、お餅が来場者に振る舞われました。

皆様方のご協力をもちまして無事開催できました。ありがとうございました。



東北物産品販売コーナー



ボランティアグループ活動発表会

## 元気でお過ごしですか? ひとり暮らし高齢者宅を訪問

社会福祉協議会では、地域の民生委員さんの御協力により、ひとり暮らしの高齢者世帯への友愛訪問を実施しています。この事業は年末に担当民生委員さんに高齢者宅を訪問していただき、安否確認をすると同時に日常生活での悩みごとなどをお尋ねして、ひとり暮らしの方が地域で孤独にならないよう、安心して暮らしていただきたいという願いで実施しています。

対象者に慰問品が手渡され、「これからもお体に気をつけて、元気にお過ごしください。」とやさしい声を掛けられていました。



# 福祉実践教室を開催しています

～いろいろな福祉体験をいかしてね～

社会福祉協議会では、市内の小・中・高等学校の中から社会福祉について学び、各種事業に取り組んでいただく福祉推進校を指定しています。

今年度は65校を指定し、そのうち小学校40校、中学校19校で手話、点字、要約筆記、車いす、視覚障害者ガイドヘルプ等の福祉実践教室が行われています。児童・生徒の皆さんに、ふだんの授業では触れることのできない福祉という分野、特に障害を持つ人たちへの理解を深め、思いやりの大切さを学んでもらっています。

子どもの頃から福祉を理解し、今後の日常的な実践活動への契機とするもので、皆さん真剣に取り組んでいました。



視覚障害者ガイドヘルプ



手話合唱



要約筆記

## 家族介護者のみなさんがリフレッシュしました!

日頃の介護疲れを癒し、支援することを目的に家族介護者リフレッシュ事業を開催し、平成23年10月6日(木)・13日(木)の2日間には28名、11月1日(火)・8日(火)の2日間には18名の方が参加されました。

それぞれ1日目の介護者研修会においては、市の保健師さんによる、「高齢者福祉と介護」、「心とからだの健康生活～うつ予防～」をテーマに保健指導を受け、2日目の日帰りバスツアーでは、屋神温泉、馬籠宿と南木曾温泉にそれぞれ出掛け、在宅介護の情報交換等を話し合うとともに、ゆったりとした時間を共に過ごすことにより、明日への活力を蓄えていただきました。

